

CANoe モデリング オンライン

Agenda VectorAcademy

実施方法:	このコースはリモート形式で提供されます
所要時間:	6.5h (10:00-16:30)
受講対象者:	CANoe ユーザー CANoe を使ってシミュレーションモデルを構築する方
受講目安・前提知識:	CANoe にて基本的な測定作業が行え、また CAPL に関する基礎知識のある方
ゴール:	CANoe を使ってシミュレーションモデルを構築するための基礎知識の習得

1. 概要

CANoe を使ってシミュレーションモデルを構築するための基礎を実習形式でトレーニングします。通信仕様書からデータベースファイルを作成し、仮想ノードからの入出力をビジュアルに表示するパネルの作成、さらにこのパネルと仮想ノードを連携させるプログラミングなど、簡単なモデルから車全体まで、受講者のレベルに応じた題材をご用意しております。

なお、このコースでは、CANoe の測定機能や CAPL についての知識が必要となりますので、ツールを初めてお使いになる方は測定解析や CAPL トレーニングと併せての受講をご検討ください。

2. アジェンダ

- > Panel エディタの詳細
- > データベースファイルの作成
- > ランプ ON-OFF シミュレーションの作成
- > パワーウィンドウ上下シミュレーションの作成
- > メーター試験モデルの作成

ご注意:

本トレーニングの演習は、受講者の PC 上の CANoe (Ver.9.0 以上)を使用して行います。

CANoe pex、CANoe run グレードは、CAPL 作成に対応していません。

そのため CANoe をお持ちでない場合には、事前(4 営業日前)にお送りする評価版ライセンスにて、インストールとライセンス有効化等の準備をお願いしております。

※リモートデスクトップではライセンスは認証されませんので使用する PC 上でのライセンス有効化(アクティベーション)をお願いします。

接続確認セッションでの準備確認も行います。

なお、受講開始までにツールが起動できる状態にない場合には、別日程でのご受講となる場合がありますのでご承知おきください。

ツール操作、講義視聴またはテキスト閲覧等、同時に行うことがあるため、マルチモニタ環境での受講を推奨します。